

令和4年度鎌ヶ谷市地域包括ケア推進協議会 第1回会議 会議録（書面会議）

- 1 協議期間 令和4年9月5日（月）～9月22日（木）
- 2 委員 青木直忠会長、田中幹雄副会長、原沢健寿委員、赤岩けさ子委員、杉山宏之委員、中村匡士委員、宇佐見律子委員、田尻昌治委員、石渡恵子委員、長池京子委員、加郷由里子委員、田中由佳委員、
- 3 事務局 根岸課長、園部課長補佐（事）地域包括支援係長
栗田介護保険係長、地域包括支援係 石原社会福祉士
地域包括支援センター 矢戸西部地域包括支援センター長
馬場南部地域包括支援センター長
池田初富地域包括支援センター長
社会福祉協議会 西村主事
- 4 傍聴者 書面会議のため該当なし
- 5 協議方法 会議の開催に代えて、書面による協議を実施。
各委員に対し、書面により協議する旨を案内し、協議内容の確認及び意見の有無について「意見書」により提出を依頼

6 会議概要

- (1) 意見提出数 11名（内、意見なし10名、意見あり1名）
1名（諸事情により未提出）

- (2) 意見 2件

- (3) 内容

① 宇佐見委員

議題ウ「基幹型地域包括支援センターについて」（資料3）に関して、役割とその効果に期待しています。

事務局

地域包括支援センターの相談件数は増加し続けております。高齢者が地域で安心して暮らせるよう今後も地域包括支援センターの役割が重要となっていることから、その機能を強化し、後方支援できる体制が必要です。基幹型地域包括支援センターがその役割を果たし、効果的な運営ができるよう努めてまいります。

② 宇佐見委員

議題オ「地域ケア推進会議について」（資料5）に関して、全て同じケースになっていた。今後も認知症の方や認知症同士のご夫婦の方が増えると思われます。どのように地域で支え、見守りし、サービス導入していけるかが課題だと思います。この会議の結果や解決方法を介護支援専門員の立場としては知りたいと思いました。

事務局

今回の地域ケア推進会議では、個別ケア会議で取り上げたケースの中で、事例の多かった「認知症」「子が障がい」を市の課題として捉え、検討・協議することとしました。ほかのテーマに関しては、引き続き個別ケア会議を重ねて検討してまいります。認知症高齢者が増加することが見込まれております。資料5の「V地域課題への対応策」に記載の「1認知症事業の促進」、「2相談窓口の強化」、「3成年後見制度の利用促進」を効果的に実施し、認知症になっても安心して暮らせるまちづくりをしてまいります。

7 協議結果

議題ア～オについて、上記以外に意見なく、その他修正等なしとし、これらの資料を市ホームページに掲載し、公表していく。

また、議題カ「鎌ヶ谷市指定介護予防支援事業所の承認について」（追加資料）について、異議なしのため、承認される。

以上、会議の経過を記載し相違ないことを証するため次に署名する。

令和4年9月30日

署名人 長池 京子

署名人 石渡 恵子